

□ 隨想 □

神戸の男・女

寿 岳 文 章
え・津 高 和



兵庫県警を中心とする検察陣が、周到な計画のもとに長い労苦の年月と莫大な費用を投じて根柢にかかる暴力の大本山・山口組の本拠が神戸にあり、その別院や末寺は全国に数知れぬとあっては、神戸っ子、特に神戸の男性の面目はあるつぶれであろう。どうしてこのような悪が、われらの町神戸に根づいたのか。野心的な若い社会学者や心理学者に、その理由を徹底的に究明してもらいたいものだ。あかるい明日の神戸を築くために。そして神戸っ子のあり方が、惡の温床を

提供していたのなら、大いに反省する必要があるう。

しかし私は、この頃毎日のようにニュースでとりあげられる暴力団員たちの多くは、根柢からの神戸っ子ではなく、昔のやくざ同様、神戸でわらじを脱いだ吹きだまりのよそもんだろうと思う。日本でもトップ・クラスの港湾施設があり、いくらでも荷役の仕事はあり、町はすぐ海にせまる山を背にして東西に長く細く走り、ナポリの裏町のように入りくんだ複雑な家構えがいたるところに

あるとすれば、これはもう麻薬や宝石の密輸入にはもつてこいで、神戸が悪人どもの天国となつたのも無理はない。はききよめても、ふき流しても一刻の油断は、たちまちかれらにしてやられるチャンスを与える。かれらのあくことを知らぬ悪い対しては、警察も市民も、十年百年の永久警備態勢でのぞむよりほかに手はあるまい。中世末期の堺の旦那衆が手本を示したようだ。

清盛が福原に都を遷した当時こそ、つかのまの栄華を誇ったとしても、一八六八年に開港するまでの神戸は、同じ大阪の外港としても、堺には到底及ばなかつただろうと思われる。その証拠に、堺に残っているほどの町民文化のあとは、神戸に求められない。しかし開港後、神戸は急速にそのパーソナリティを作りあげた。

明朗で開放的な港町の氣分を醸成した当初の商人たちの出身地は、どこが首位を占めるか、これもまた調べたことのない私は一向不案内であるが

私の少年時代、神戸で成功した人たちから聞いた話では、摂津や河内や大和から、ましてえげつない江州から来た人よりも、三木や高砂など、加古川流域の播州平野を故郷とする連中が、案外多かったのであるまい。言葉にしても、大阪弁よりも播州弁に近い。

しかし大阪弁でも播州弁でもなく、まして東京弁とは違うところに、神戸っ子独特の、底ぬけに明るい風格がただよう。神戸っ子はますこの神戸方言の伝統を守らねばなるまい。

私の少年時代の神戸の中心は、すぐ西に盛り場の新開地をひかえた楠公社付近であり、花隈から

山手へかけてが、さしづめ生えぬきの神戸っ子の住宅街であつた。しかし兵庫港寄りの地域を早くから開拓して根をおろした人たちの実力も、高く評価されねばなるまい。どうもこの頃の神戸の中心は、東に片寄りすぎたきらいがある。三宮付近は明るいことは明るいが、軽薄な点と線がないでない。元町以西の重厚さを身につけないと神戸っ子はやせ細るだろう。

私の知つている範囲で、代表的な神戸っ子を挙げよと言われるなら、私は一も二も無く西村旅館の故・西村貫一に登場してもらう。彼はあけすけで、屈託が無く、傍若無人で、しかも何をやっても凝り性で、客をよろこぶことの彼の如きは稀であろう。彼には天衣無縫・極楽さかおとしのおむきがあった。神戸っ子の身上は、あくまで神戸の体臭を失わずに、コスマボリタン的な性格にあるが、西村貫一はまさにその点で申し分が無かつた。

たまたま神戸へ遊びに来る東京の婦人たちはトアロードあたりを歩くと「東京のどんな店にも感じられないシックな雰囲気がある」と言う。その雰囲気に始終したつている神戸っ子の女性は祝福されてよい。たいていの地方都市には、相当な人口を擁しながら、何々銀座というなさけない盛り場があるものだが、私の知る限り神戸には、たとえ西の方へ足を運んでも、イミテーション銀座はあるまい。その都市に獨得の風格があるか無いかは、銀座の呼称があるか無いかできる。万一千戸のどこかに、銀座の名を冠するいかがわしい通りがあるなら、速刻その名をとりはずすべきだ。

神戸を侮辱すること、これより甚だしいものは無かろう。

田舎があるので京都はいよいよ京都らしさを育てはぐくんだように、今や神戸はその背後は茫茫と田舎をもつことによって、いよいよ神戸らしさを發揮するだろう。神戸の性格が変わらない最も大

きな原因は、外国航路に枢要の位置を占める港町だという事実にある。しかし六甲山系を限界としたのは、神戸の文化は底が浅くなる。海洋性と山岳性と、それを結ぶ田野性の三つにより、神戸っ子は男も女も最もめぐまれた環境にあることを誇つてよい。

△甲南大学教授▽

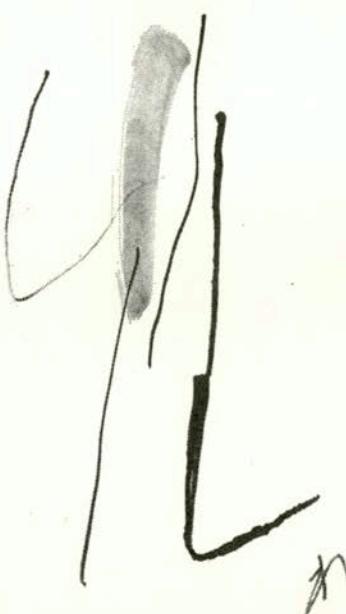
□ 随想 □

神戸の男性

梁 雅
え・津 高 和 一 子

白いヴェールをかむつて、薦におおわれた聖堂から静々歩いてくる黒衣のひとはまるで自分らとは種属を異にするかのようです。けれどもボクは、少年時代を送った神戸でしばしば逢ったインド女性と、かの女らの一種異様な物静けさ

を思い出しました。アナタは、インド婦人の服装を知っていますか。あのヒンズー好みの唐草模様がついた頭布、宝石の耳飾り、足の運びにつれてゆらゆらする裳裾、色とりどりのかさね着であるが、取分けて主調をなしている独特的



茜色……がトランプの女王様の外出に似た妖しげな趣きがあります。

この文は、わが師、稻垣足穂氏の若き日の作品の中にある。イナガキ・タルホの初期の作品の幻想的な町の雰囲気は、その頃の神戸の持つエキゾチックな美のイメージであった。その匂いはいまもなお、タルホ氏の体臭にもなっている。

さて、神戸の男性を私はあまり沢山しらないし特に親しい人もないけれど、総じて神戸男は、スマートで、どこか少年っぽいところがあるのが魅力だと思っている。いろいろ話していく、物事に初々しく燃えてゆかれる男性に、神戸の産ですか、と問うと大抵当る。土根性とか、土性骨とかで代表される大阪おとこが、「そんな阿呆らしい、子供っぽいこと……」と笑ってしまう事を、神戸おとこが真剣に取組んで効果をあげてゆく姿もある。

「神戸」というところは古い伝統も何もないところですよ、そこに住みついたのです。だから開拓者精神というようなものもありますね……神戸に伝統がないという証拠は、六甲山や摩耶山に、これといった神社も寺もないでしょう。誰も住んでいなかつた新天地、といえます」

と神戸の男性である学者がいわれた。神戸の男性は郷土愛が強い、神戸に住んで来たというだけでまず愛情が湧くのである。大阪も東京と共にマンモス都市になってしまって、郷土愛と叫んだところで空疎なひびきが流れゆくようなのと比べてまことに羨しい、と思う。

神戸の男性には芸術家や、その愛好家が多い。

私の接するのはそんな人許りかもしないが、しかし、そうしたものへ素直に入る性格が多分にあるのは確かだと思う。それは神戸という街の地形の関係だろう。港を廻んで伸びた細長い町は山にも近く、神戸の街の夜景の美しさは詩情をそそるに充分である。それにいろんな外国人が住みついて自然に漂う異国情緒が、上品に現在も存在するのでは、神戸の男性のえらいところではなかろうか——。そんな都会に、すぐれた画家や詩人が多いのも当然だと思う。

とにかく、身も心もスマートで、少し気弱で、お人好しで、お洒落れで、女性を大切にする紳士であり、まことに現代に相応しい男性像が私にあるのである。私はあまり深く神戸の男性を知らないので読える許りだけれど……。大阪のテコでも動かぬ土性骨を持つたコッテ牛のような男性と比べてみると……。

ドッヂがよいか……サア……。

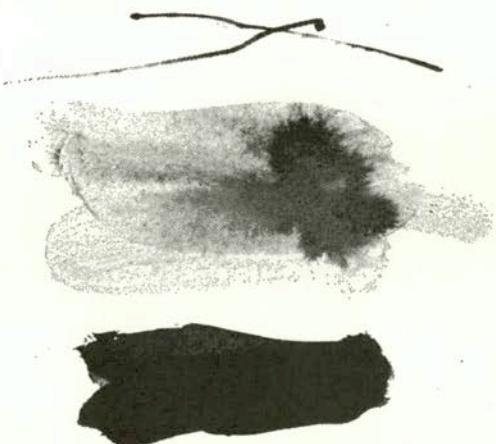
でも、神戸の男性と綺麗なレストランで食事なんかするのとはまことに楽しいに違いない、と思うのは的であろう。

△作家△

□ 隨想 □

神戸の男性

田辺 聖子
え・津 高和一



神戸の街、どないです、と人に聞かれて私はいつも「よろしいわア、住んでみるとだんだん好きになりますねン」といっています。市民アンケートをとつたら「死ぬまで住みたい」と答えた人が九一パーセントもあつたそうですが、人の思うことは一緒ですね。

とくに神戸は食べものと人間がよいようです。もちろん、人間を作るのは街ですから、街の性格や雰囲気と不可分のものでしうが、女性の美しさ、とくに若い娘さんの綺麗なことは東京より上ではないかと思います。

食べものは昔いて、人間がよいという内には女性のほかに男性もはりますが、私は神戸の男性

で好きな点を一つだけ、といわれれば、何となく余裕があること、そのことではないかと思うのを見ているというわけではありませんから、見当はずれかも知れませんが、神戸の紳士方は何となくノビノビしてユトリがある気がします。それからしてじつに個性的です。大阪や東京だと、都会のスケールが大きいだけに人間も大味になつて、千大きさだと、まだ人間の個性がめだつ余裕が生まれるらしいです。

おかげで関西の才士はみな神戸へあつまつた観

余裕といえば神戸の青年のオシャレも目立たないけれど、凝ってる人がいます。それもこれも、背景の海と山が美しいのでよけい引き立つのかも知れない。それに中年紳士のおしゃれがすつきりしている町です。それから余裕のあるせいか、男性はみんな親切で世話をやきであります。私はものを頼んで神戸の男性ほど、快よく引き受けてくれる人種を知らないのであります。時に、ナンデヤナ

ンデヤ、何するねん、何のためや、何やるのや、と微に入り細にうがって頬みごとに立ち入り、センサクする紳士方も居られないではありませんが、それもあるふる好意からであるらしい。よっしゃまかしどきイ、と必らずいつてもらえる。男性として頬もしいかぎりであります。

でもそういうと、何だか「三国志」にでも出てきそうな一諾千鈞の快男児を想像しますが、そうではない「あれな、あかんかってン」と時にしゃあしゃあと言わることもある。「えらいすまん」と、べつにすまなさそうな顔でもなく言われるのですが、そこが都会人の洗練された気軽さで、こちらも「ア、そう」ですむので、そんな気易さも私は好きなのです。「また頬みや」「うん、また頬むわ」でスイスイいくので、まことに手觸りのいいところがあります。(もともと、ものを頼まれて快く引き受けるのが神戸の男性だからといって、ウチの亭主は、私が頼んでなつてもらつたではないのです。念のため)

余裕があるから、じつに生活を楽しむことにかけては天才的である。仕事もちゃんとされるが、遊ぶことも大好きらしくて、つきあいがよくて、

人と集まって騒ぐのがお好き、それも遊ぶときは心から楽しそうにしていられるところが、見ていて気持ちがいいのです。金もうけや仕事だけに狂奔しているのではない、生きてることを楽しむ気風みたいなものが神戸にあって、野暮な大阪からくると、アカぬけています。

大阪人たって遊ぶことが好きですが、どうも一対の四帖半趣味の紳士が多くて、みんなで老いも若きも一緒にさわぐ、という西洋書生っぽみたいな気風はないようです。若い男に至るまで老成しています。それにくらべると神戸の紳士方は、万年青年で、若々しくて好きです。

若いマドモアゼルの美しい神戸はまた、中年、初老、大老(?)元老(?)級の紳士の美しい町で、汐垂れたのから伊達者にいたるまで、ふしぎにしつくりして町に似合っています。それも海が開けて山が明るい、地形・風土気候のせいかしらふつうなら懷石料理や精進料理にくわしくて、うるさい文句をいうような元老が、ここではベレーを横つちよにかぶつて、ナイフとフォークを丁々発止とみがきつつ、血のしたたるビフテキに舌鼓を打っているのですから楽しいです。ですから、男性の顔もノンビリしていく中々いいのがあります。——女には住みよい町というべきです。どちらを向いてもすてきな紳士でいっぱいですから。いまや紳士は、デパートの赤札大売出しの「紳士用品」「紳士雑貨」の中にしか存在しなくなつた現代、女性としては、ますます神戸の男性を大事にしてあげなければ、と思うのですが、これもウチの亭主だけのことをいつてゐるのではありませんが、

流行をはこぶロンジンの
日本の輸入元がセイコーです
その神戸での特約店が
美田時計店です
元町店・さんちか店で
じつくりと
信用でつながるロンジンを
お選びください

特 約 店

美田時計店

元町店・元町三丁目 TEL.33-1798
三宮店・三宮地下街 TEL.33-3798

おんざら庵

きものと細貨

おんざら庵

東京
西店 / 三宮センター街・電話 33-8836(代)
東店 / 三宮センター街・電話 33-0629
三宮店 / 三宮地下街・電話 39-4303

神戸
新橋店 / 新橋2丁目・電話 571-0807
銀座店 / 京阪神銀座タウン・電話 572-4847(直)
(西銀座7丁目・並木通)

宝石・貴金属・時計

さんちかタウン (39) 4593
梅田新道堂ビル北 (364) 0215
桜橋 每日新聞社前(341)0412
新大阪ステーションストア
大阪ロイヤルホテルセイコーショップ

さわやかな
秋をたのしむ
軽快な
靴なら
クロスです

★★★★★
靴と舶来雑貨
★★★★★

クロス

舶来雑貨 神戸トア・ロード TEL ③0998
婦人靴 三宮地下街(さんちかレディスタウン)
大阪阪神百貨店 TEL 361-1201
京都丸物百貨店 TEL ⑥1111



★神戸つ子対談

神戸の海運界にのぞむ

乾 豊彦 △乾汽船株式会社社長

樽本

久 △樽本汽船株式会社常務取締役

★オーナー対策を強く打出すべきである

樽本 今日は先輩、後輩ということで対談を依頼されました
したが、まったく格がちがいますからねえ(笑い)
乾 何をいつとるんだ。僕は、むしろ自力を發揮してや
れる君の立場の方がうらやましいですよ。

僕は、生れは名古屋なんですが、神戸にきて三十年に

なりますかねえ、戦前は経済界も非常に安定しており、
ことに船会社は盛んで、日本の海運界の中心としてはな
んど東京へ行つてしまつて昔からのオーナーも数社に
なり、あわれを留めているという状態です。
合併、統合とか、今度の海運集約が進み、世の移り変
わりで仕方がないといえばそれまでだが、これがオーナ

一の宿命ですわ。私は現在オーナーズ協会の会長をしています。が、今後このままいかれるかどうか非常に疑問を持っています。これは、神戸のみならず、海運界全体の問題ですよ。

橋本 随分と合併がございましたねえ。

乾 ひどいですよ。海運集約に入つたため、合併するとか、大幅の減資をするとかで整理されたことで、益々、沈滞に拍車をかけたようなことでね。このあいだ運輸大臣に話したんだが、海運業界の集約化というものは、オペレーターの整理統合でことなりるんでねえ、實際、オーナーにとつてはひどいものですよ。オーナーまで合併する必要はなかつたんですよ。そういうましたら、運輸大臣も認めていましたよ。

神戸の場合にしても、どうしてオーナーがこんなにみじめになつたかということを、ふりかえつてみますと、戦前は、相当借入金というものがありましたけど、一応オーナーといふものは、自己資金を中心として船を持つたわけです。それが戦争ではほとんど沈められ、戦後ようやく計画造船が始つた時、ことに神戸の船主は意欲が旺盛で、何とか船を持たないといかんといつて大いに協力してきたわけです。そんな時に大手は動かなかつたわけです。だから、神戸の方は、はじめの一次から五次までの悪い船は割に持つてゐるんです。

本格的にこの計画造船がはじまつたのが七、八次のころから十五次くらいまでで、その当時で年間二十万トンの生産なんです。だから競走が激しく、実に高い船になつて、大会社だけに渡りましてね。五、六年前まではどうもならなかつたですね。それが今度整備され、最近五年くらいのあいだに船会社は、全部成功しとるですよ。ところが、我々旧オーナーは、その前の、高くて、しかも船員がたくさん乗る、性能の悪い不経済船がある。それも当时一万トンで十二、三億円もしたもののが、十年もたたんのに船価が半分になつてしまつてゐるんです。

そういうものの結果が、神戸におけるオーナーの自主

性とか、発展性というものを薄くしてしまつたんですね。かといって自力では何もできないんでつらいですよ。

橋本 いずれにしても、自主性を失つたものがオーナーですね。だからフリーな立場で仕事ができなくなりました。乾社長のところは、別でしようけど。

乾 そうでもないですよ。熊勢を整えないといかんしかといつて自力では何もできないんでつらいですよ。

戦後の日本の海運というものは、運輸省の新造船によって築きあげるというわけで、運輸省の思うとおりに造船をわりあてて計画造船にきりかえられたので造船所へ行つて船をつくるということも自由にまかせられないわけです。それにベトナム問題があり、運賃が高くなつている。ところが、集約というもののワクにおさえこまれているんで、船をどこへも持つていけないし、どこどこ造船所へ船を頼むというようなこともできないんです。また今みたいになると、船員ストによつて賃金が非常に高騰しており、今後も相当の値上がりがあるけど、それだけのみかえりといふものはみてくれないし、船主の方は赤字を出す一方なんです。人件費というか、所得倍増で船員費は五年ほどの間に倍になつてますねえ。

ところが、仮にマーケットの強い場合は荷物をかかえている中核体にしたら無理をしても商売をするんですが今は全然積極性がないんですね。自分で荷物をみつけ、自分で船を造つてやることができるようにならなければ、オーナーの自主性もなければ、今後の発展性もなきや、オーナーの自主性もなければ、今後の発展性もないと思うんです。やはり若い人の自主性とか、オーナーの自主性というものを尊重するような時代でないとね。あてがいぶちをもらってやつてるようじゃあ仕方がないですよ。

橋本 現在、特に内航船舶が過剰ですね。外航においても、海上輸送の生産性があがると、供給過剰という現象がでてくるんじゃないですか。

乾 それはあるでしようね。私もある時にいつたんですが、とにかく四本ないし五本の柱を中心にして合併をすめなさいと……。これは、オーナーズ協会の会長とし

ていうんですが、郵船、三井、川崎などのこれらのグループを大きな柱としてやれば、仮に今度のコンテナ問題としてもバランスのとれた整理ができるわけです。

それよりも、まずわれわれが一番心配するのは、現在使用している船がだめになると、払い下げられるということがあり、その船をどう使うかということですわ。計画造船についても、財政資金もついていますが、金利を払うので大変ですよ。過去のことはともかく、これからは、計画造船というものは政府の助成もあることだし、必要性はみとめるけど、もう少し自由闊達に造れるようにしてもらいたいですね。現在のような状態のワクの中にこもつてしまつたままだと、もう去勢されたような存在ですよ。今までの事情は仕方がないとしても、四十四年の三月に一応期限も切れますし、何とか自力で伸びることを考えていかないとダメですね。

私はね、定期航路などの大きい船以外の、たとえば米

材船だとマーチだとかチップだという船は、オーナーに造らすべきだということを三、四年來、主張してきてるんです。運輸省でも、その気があるんですが、やはり海運政策より金融政策の方を優先しますし、この集約はオーナー対策というものを無視したオペレーター政策だというんです。運輸省は、オーナー対策というのをもつと打ち出すべきだというのが私の念願ですね。

★国民の納得のいく解決を望む

乾 今、コンテナ船が問題になつておらず、いろいろ案があつて今運輸省で審議中ですが、船会社はすごく積極的ですね。ただ船を造ることは簡単だが、港湾設備がどうなるかということが問題なんですね。現在は大阪と神戸のどっちにするかという問題があります。神戸としては、摩耶埠頭を使い、大阪は堺を使うということで申請してるんですが、まだ結論は出でないようです。それに



セミコンテナーでいこうではないかという案もあります

橋本 今ある船を合理的に改造出来ないものですか。

乾 いえ、全部新造です。しかし、相当の数が必要ですし、計画造船でどのくらいまでいけるかということですね。それと根本的な問題は、何といってもどういう単位でやるかということですね。中核体が共同態勢をつくつてやるのが本当じゃないかと思うんですがね。

それに、コンテナー基地の場所にしても、何も大阪と神戸で取り合う必要はないと思うんだが、港としては神戸の方が良いというのは誰でもわかつてゐるんだ。大阪の堺の方は地盤沈下で大変なんですよ。後は道路の問題ですね。

大阪は万国博をひかえ、商社が強く、政治力が強いということはあります。が全体から考えたら神戸にコンテナーの大きな基地を作り、ポートアイランドを造つて、あとは大阪に通する完全な高架の専用道路をつくれば解決できると思うんです。かといって、神戸といつても小さいものだし、やはり大阪とともにになって発展していくべきだと思います。コンテナー基地としては、世界的な神戸の港があるんですねからねえ。

橋本 夢のかけ橋の問題は各地の青年会議所がそれぞれの立場でいろいろな動きをしていますが、大きな意味からみれば明石架橋、瀬戸大橋と両方につくといいますね。私はねえ、かけ橋が海難とか船の運行上、阻害されやしないかという心配をまだ持つてゐるんです。特に潮流の強いところだし、現在ですら相当あぶないところだから、勿論、専門的に調べてやるんでしようけど充分に調査してやってほしい。

それに神戸港へ瀬戸内の方から大きな船が入れなくななる。まわらないと入れないとすると下手したら神戸に入港する船が減るんじやないかという心配もあるわけです（笑い）。海難防止協会からも反対が出ていますが、益々船は大型化するし、東京湾の時のように、そういうところで座礁するようなことがあれば大きな問題ですからねえ。しかし、かけ橋も大きな観点から見た場合は大いに

役立つんでしょうけど、今度の淡路の国際空港ならより以上に価値もあると思いますし、将来国際空港とかけ橋といつしよになるという風にしてもらいたいですね。

橋本 そらあ、飛行場ができるたら橋もつくらないといけませんねえ。どちらを先にするかとなる（笑）
乾 三木さんが、政治色をいつさい抜きにして専門家の結論に待つんだといっていますが、国民の納得のいくよう、解決してもらいたいということです。

★若い人達の結集をのぞむ

乾 神戸というところは、こういう限られたところで、工業に待つということはできないし、何といつても港なんですから、観光客の受け入れ態勢をちゃんとしないとダメですね。それには気持の良い、きれいな都会にしないといかんし、それと六甲の開発ということですね。

神戸の美化にしても、アメリカ領事館前のきたない所を放つておいたり、どうも行き届いてないですねえ。

それに、道路にても良い道がたくさんついていますが中途半端でシリ切れトンボになつて何も役立たないということでねえ。おまけにやつと道路を作つたと思つたら、何度も同じところを修理しとるでしよう。

橋本 ガス工事や水道工事で掘つては埋めというやの：乾 それもあるでしようけど、損傷するんです。一年や二年で損傷するような道路をつくるのがおかしい。

だけど、何といつても神戸は船に関係した若い経済人も多いし、はじめにいったように、海運に限らず何か新しい仕事に突進していくべきだと思いますねえ。それに痛切に感じるのが時代の変化があまりに激しいですね。それについていける人でないといけない。今は人格、能力、それと頑張りですね。そうなるとやっぱり何といつたって若い人達ですよ。旧来のカラを破つて、中小企業でも新しいものをみつけて進むということに若い人達が力を合わせてやっていくべきだと思いますね。

経済ボケット ジャーナル



西山氏逝く

川崎製鉄の支柱西山弥太郎氏はついに八月十日帰らぬ人となつた。小っぽけな工場から今日の八幡、富士につぐ大製鉄会社に育て上げた日本鐵鋼業界史上の偉



盛大に行なわれた西山会長の葬儀

いう人は自分のことなどで会社に迷惑をかけたがらない信念の人だつた。文字通り鉄に生き鉄に死んだ尊敬すべき友人だつた」と「西山天皇」の死を惜んでゐる。

藤本新社長生る

西山前川鉄会長が死去する約三週間前懸案になつてゐた藤本一郎副社長の社長昇格が決定した。藤本氏の昇格の事実として衆目の一致するところであつたが、神戸最大の企業であるだけに新社長の活躍いかんといふところだ。

しかし藤本氏は西山氏より十六歳も若い五十七歳、大企業の社長にみられないキサクな態度で取り扱きを心配させるほど考えていることをズバリと卒直にのべるタイプ。その信条も常に「西山先輩に学び追い越すこと」だそうで今後はバリバリ活躍しそうだ。同氏の健斗を神戸っ子として応援したい。

才といわれた同氏もやはり病いには勝てなかつたわけだが神戸経済界でも第一人者として重きをなしていただけに急逝は各界に大きな痛手を与えたようだ。西山はそれだけ仕事の鬼でもあつたわけで、友人として浅田長平氏は「西山さんと

元来仕事一本やりの同氏が他人にあえて自分の身体の衰弱を知らせなかつたともいえようが、半面、同氏はそれだけ仕事の鬼でもあつたわけで、友人として浅田長平氏は

KOBEオフィスレディ



鶴 沙 知 子さん (22)

トランス・メリディアン・ナビゲーション・カムパニー・リミテッド神戸支店総務課勤務 毎日の仕事が楽しくて仕様がないというお嬢さん。3人兄妹の真ん中で性格が底抜けに明かしい。3年前タイピストとして入社、職場では最早少とあって「さっちゃん」「さやん」の呼び名でマスクされた存在。散歩が趣味でヒマさえあればあちこちをそぞろ歩きするといい、明石高校卒。

青年たちに「行動力はJ.C.が一番。また活動もしやすいし、バリバリやってほしい」と持ち上げたりハッパをかけるやらの長広舌を開。横にいた砂野氏から「元気ものの長平さんも衰えてきたのかな」とこれまで陣頭指揮を取っていた浅田氏をひやかしていたが…。

所事務局でも有効な手を打つものと信望を集めている特に兼職が多くて困つた佐谷専務は「泰さんに入所されてやつて自分の勉強する時間ができました。今後はどしどし手腕を振つてもらいますから神戸の皆さんもごひいきに」と大喜びしている。

"なかなかスマート紳士"

商工会議所泰新事務局長

原口市長をまじえて神戸・オリエンタルオтельで開かれた。万国博の神戸誘致を

以来実に二年ぶりという会合で商議所から浅田会頭、経営者

協会から砂野会長、榎並副

幹事(川車社長)、J.C.から

などについてスクランブルを組

んで共同で対処していくこ

とを決めた。なお席上、浅

田氏は鳥越氏らJ.C.の若い

人、市では経済、市議会事務局を歩いてきたペテラン

だけに神戸の財政界へのバ

イブ役としてもうつつけ

の感じた。かといって本人

は酒も楽しむ仲々のスマ

ト紳士で若い人の多い会議

所事務局でも有効な手を打

つものと信望を集めている

特に兼職が多くて困つ

た佐谷専務は「泰さんが

入所されてやつて自分の勉

強する時間ができました。

今後はどしどし手腕を振つ

てもらいますから神戸の皆

さんもごひいきに」と大喜

Sugiya

- *セーター
- *ブラウス
- *ランジェリー



おしゃれを
愛する
あなたの
Sugiya

トア・ロード市電大丸電停前
TEL <33> 3436

イタリーから
はるばるとどいた
カメオで
秋の装いを美しく
彩りもゆたかに



ノミヤマ独自の
すぐれた技巧で
デザインされた
サンゴのブローチを
あなたもどうぞ

nomiyama さんごとカメオ専門店

ノミヤマ

神戸国際会館アーケード TEL (22)8161 (内線)333
本社工場

神戸市東灘区上筒井通1ノ20 TEL (22) 2070

神戸ドキュメント——^9^

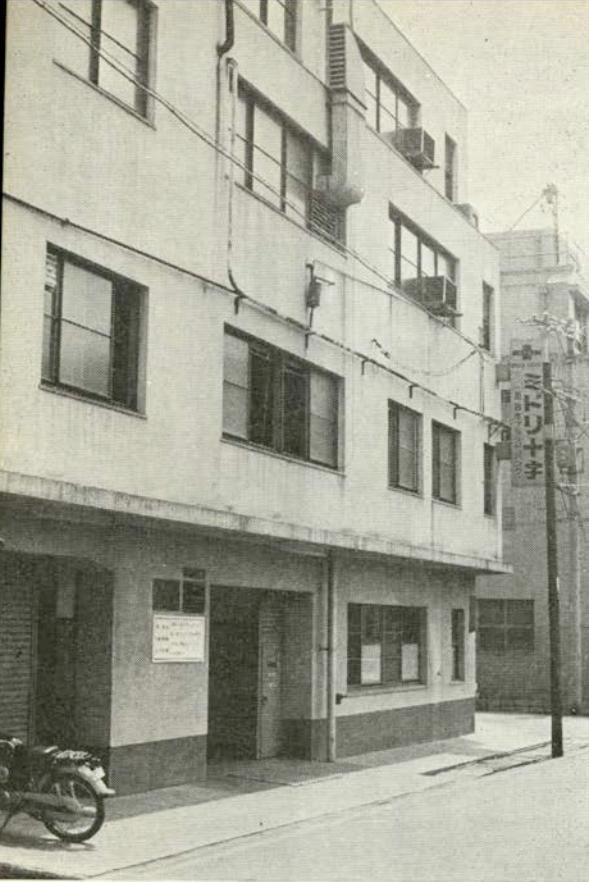
血液センター

有井 基

血がほしい、という要求は、日ごとに切実である。輸血用の保存血液が底をついて、助かるいのちを、ムザと見殺しにする事態さえ起きかねない。献血の呼びかけはあらゆる機関を通じ、あらゆる機会をとらえて行なわれているが、実状はどうだろう。新聞やテレビは「愛の献血」を大きくとり上げる。しかし、その行為がニュースになるのは、稀少価値を含んでいるからだ。だから、献血がニュースでなく、あたりまえの行為になる日は遠いのだろうか。

いうまでもなく血は人間にとって、いのちにひとつない。健康維持のために増血剤を飲み、ノミやカなど吸血虫を、かたきのようにたたき殺す。血をとられることには、本能的なおそれがある。その貴重な血液を、他人にやつてたまるか、というのが、ごく一般的な考え方ではないか。そうした本音へ向けて、献血運動を盛り上げるには、どうすればいいのだろう。

私はこうした疑問をほぐすために、兵庫県赤十字血液センターへ出かけた。市電下山手五丁目の電停浜側にある同センターは、一昨年秋の建物だけに、新しくて明るい。待つ間もなく、同行の赤松君(本誌編集部)と受付けカードに必要な事項を記入、すぐ血液の比重・血圧を測定して、ベッドへ横になると穴からガラス越しに片腕をニュウと向う側へ突き出す。ヒジにまくらがあてがわれゴム管でしめられ、やがて採血がはじまる。「ちょっとチカッ！としますよ」というなり看護婦さんが針をブシリ。さきの比重測定と同じくらいのヒリツと



——(兵庫区のミドリ十字神戸支店で)

する痛みである。散髪屋で頭皮をゴリゴリやられて gamma ンすることからすれば、まるでなんともない。約三分。ゴボッゴボッと吸いこむ音がして「はい、ご苦労さまでした」

まことに手ぎわよく、簡単である。採用量は二百cc。全血液量の一〇%を越えなければ悪い影響はあるはずがない。私の場合、かりに体重七十五kg、体重一kg当たりの男子平均血液量七十三・二を掛けると、全血液量は五百四十九cc。したがって五百四十九ccまで安心して採血できる計算だが、採つたのはその半分弱。成年の女性が月に一回、生理現象として失う血液は五〇—二〇〇cc だから、血の多い私など、手ごろな量かもしれない。

「二十分ほど休んでいて下さい」

ベッドから起き上ると、ソファへみちびかれ、ジュークが運ばれた。しばらくして、献血手帳と献血ハッジが一人づつ渡された。赤い表紙のかわいい手帳と赤十字の真ん中へ黄金のしづくがついたちいさなバッジである。持つてみえたのは総務係長の志水則昭さんだった。私たちが血圧を計っているとき入ってきた十人ばかりの集団があつた、手のカードに、職業は国家公務員、献血の種類は指定献血に○印をつけ「神医大病院」と記されていた。若い女性を混じえた、そのグループについて志水さんに聞くと、裁判所の職員で、同僚の家族を救うための献血だという。たぶん仕事の合間に来たのだろう。ひとしきり明るく談笑すると、早々に帰つて行つたあとはしん閑として淋しかつた。

献血者の職業は、四十年度に例を引くと、学生が二千八百四十九人で最も多く、会社員千八百七十人、公務員一千五百七十五人(計六千三百九十四人の順)。商業や主婦は少ない。今年度は四月から七月まで六千二百二十五人。ふえてはいるが、この中には七月に県下の日本通運従業員八百人が大挙献血した分もふくまれている。例年は七、八月が、ことに少ないそうだ。

「O型ゼロということもありましてね」—志水さんの

案内で冷凍室を見せてもらった。未検査のほうはギッシリつまっているが、A・B・AB・Oとそれぞれ分かれただ検査ずみのボックスはがらあき。B型などカラップに使われるのは五日目からだが、それがカラに近い状態で近かつた。ここは採血後四日間貯蔵され、その間、血液型・梅毒血清反応など厳密な試験が行なわれる。輸血に使われるものは五日目からだが、それがカラに近い状態では、どうなるのか。

夏場の献血が少ない原因に、たださえ体がだるいところへ血液を取れば、倦怠感が強まるという不安がありはしないだろうか。だが、私も赤松君も、寝不足でへばり気味だった。それでも特別の疲労感はなかつた。だから二〇〇ccくらいの採血は何の支障もないことが徹底し、身近かな場所で献血できるなら、もつとふえるのではないか、と思う。

しかし、移動採血車は一台。「フルに運転しても一日百五十本が限度です。十六日(九月)にもう一台ふえるので少しはラクになりますが……」志水さんの語調もさえない。いま神戸市内で血液をとり扱う機関は、この日赤とミドリ十字神戸支店(もとの株式会社日本ブランドバンク)。神戸で年間三万四千本、県下だと十二万本という必要量を、この二個所で扱つてある。需給の調整は兵庫県献血協会がやつてあるが、二つで移動採血車はたつた一台。神戸市内は原則として直接来てもらうことにし、トラの子一台が但馬、丹波、播州、阪神間を飛びまわつてゐるのだから、不足がちも当然だろう。

四十年度の「厚生白書」は「血液事業が正常な姿で運営されるためには、献血運動に対する国民の理解と協力が必要」と、前年度と全く同じ内容をくり返している。買血にたよつて発展してきた血液事業が、「汚れた血」などの社会問題化をきっかけに、血銀も買血をやめてからもう二年。それでいて現状の、不十分な体制では「理解と協力」にも限度がある。

ひところ、善意の組織化がさけばれた。だが、そうした「愛」や「善意」にばかりよりかかっていても、献血運動



手ぎわよく、簡単な採血。200cc の血液が将来身を助ける（県赤十字血液センターで）

の盛り上がりは期待できない。神戸市の医務課で話していたら「自分の身近かで必要が起らないと献血へ踏みきれないのが人情ですね」と係りの酒井さんがいったが、ここにところを押えてからないと、美德をくすぐるだけでは早晩頭を打つ。

「よく、お国のためにや、いふ人があるんですが、戦時の供血といった考えが抜けないんですね。献血は人のためではなく、自分のためですが、そこがなかなか……」と酒井さんはいう。血液不足は交通事故の激増によるが、より直接的には外科手術の発達が原因している。脳や心臓の手術が進歩し、大量の血液を必要とする。つまりは医学の進歩を支える大切な役目が献血にあるのだが、そうした認識へ育てる努力を、行政当局はどのていど積み上げてきたかも私たちもどうこたえていけばいいのか、問題はこれからである。

献血手帳には「もし、あなたやあなたのご家族が献血を必要とされることがある場合は、医療機関を通して、もよろの血液センターへ連絡するようお申し出下さい」この手

帳は全国どこの赤十字セ

ンターにも通用します。

また血液の供給を優先的

に受けることができま

す」と明記されている。

だが、こうした趣旨を知

らない人さまざま多

い。

神戸市は、そのPRとして「献血月間」の九月「衛生神戸」の献血特集号を、市内自治会五五〇、婦人会一二一、市場一〇一、計七七二部を配布。同時に、献血友の会の結成促進を働きかけた。八月末現在、市内の友の会は二十一団体一千三百九十七人。四十年五月、のじぎく園血液友の会を第一号として、同年十月にはそごう神戸店、阪東調帶など民間企業にひろがった。いずれも血液互助会のような組織で、いわば市民の自衛体制だ。労働組合や健保組合がとり組んでいるところもあり、ことはかなりふえるだろうという。

しかし、友の会をつくることも大切だが、一般家庭、農業地区への浸透することも欠かせない。そこで、地区ごとに懇談会を開いてはどうだろう。私のせまい周囲だけでも、いろんな意見がある。「ベトナムで採血しろ」「女性の生理血を浄化して活用せよ」「暴力団の『更生献血』というのはどうか」「まず、六十五歳以下の市職員と税務署員のモデル献血を」：というのから「ドライバーには運転免許を渡す前に献血させて、献血手帳を同時に携行させよ」というマジメ型まで。その、どれをとっても建設的な意見ではあるまいか。

右はそれぞれ茶化しているようだが、実は大まじめのだ。その底には共通した一つの不信があった。さる六月、献血育ての親といわれた輸血業界の権威・村上省三氏が「日赤の血液事業が研究面をおろそかにしきぎでいる」と日赤技監を辞任した。人工血液の研究をはじめ血液確保の重要な研究をおざりにして、献血へ協力を



冷凍室はカラッポの日も多い
(県赤十字血液センターで)

呼びかけても、市民のな
つとくは得られないとい
うのである。当然、私た
ちの側にも、血液事業の
展望は生まれない。懇談
会の必要は、一片の文書
では埋まらないそうした
不信を埋め、推進をリードする役所と、自主的に献血する市民とが、共通の「理解」に立つことが何にもまして急がれるからである。

厚生省は昨年①献血思想のPR、②事業場、地域、学校内などの献血組織をふやす、③血液センター・出張所を整備し、簡単に献血ができるようにする。④オープントラブル(出張献血)の強化、⑤病院、医師会に協力を求め、輸血をうけた患者の家族に「お礼の献血」を呼びかけてもらうなど緊急対策を打ち出した。それらは徐々に実行されてはいるが、どうも上から、せつつかれているようで、自発的に応じる気にはなりにくい。血の尊さについて語り合うことを抜きにして、血を出せ、と迫られてはだれしもハイといえなかろう。

施策に血が通えば、しづん実行のしかたもちがってく
る。文書の通達ではなく、市民との話し合いで、血液の大切さを理解させ、長期的なプログラムを示して、決して場当たり式に血を寄せ集めるのでもないことをなつとくさせる。最低それぐらいの働きかけが行政側でなされないと、献血は本当の市民運動に盛り上がるまい。

まだ、これからである。「せめて僕らは、きょうの小さな体験を、人に話して一人ずつすすめてみようよ」私は赤松君と語らいながら、そっとちいさなバッジをとり出して見た。みるからにかわいいのが、すつかり気に入ったのだ。

早秋の澄みわたった空の
下に、いちだんと冴える
あなたの装い——そのポイント
はマキシンの帽子です。



婦人帽子
マキシン

神戸・トアロード 東京・銀座3-2
TEL 神戸33-6711-3 TEL 東京535-5041



世界の味、味覚の王者
ヒロタのマロングラッセ



洋菓子の **ヒロタ**

本社★大阪市天王寺区上汐町6
(神戸) 元町店・三宮秀品店
さんちかスイーツタウン
(大阪) 新大阪駅前・富国店
大阪駅東口店・梅新店・ウメダ店
戎橋店・ナンバ店・天王寺店
天満店・塚本店・豊中店・尼崎店
守口店・淡路店

かわいいあなたをより一層チャーム
する神戸眼鏡院のメガネ



おしゃれ メガネの

神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎ ⑬ 3112代
三宮店・さんちかタウン ☎ ⑭ 1874~5